



株主通信

2026年3月期 中間期
2025.4.1 ▶ 2025.9.30

株主の皆様へ

上期として過去最高の営業利益を更新
事実上の独立経営体制のもと、
両事業それぞれの成長戦略を加速

代表取締役社長 CEO

筑紫 敏矢



当中間連結会計期間は、Nintendo Switch 2の発売等を追い風に国内デバッグサービスで力強い成長を実現するとともに、QAソリューションにおいても着実に新規案件を獲得するなど、DHグループ事業、AGESTグループ事業ともに、コア事業で増収を達成いたしました。当中間連結会計期間の売上高は、前期3Qに売却したノンコア事業会社の影響で、19,112百万円(前年同期比4.0%減)となりましたが、本売却の影響を除くと前年同期比7.0%増収と、実質ベースではしっかりトップラインを伸ばすことができました。また、利益面においては、収益性の高い国内デバッグサービスの伸長やAGESTグループ事業における利益体質への転換等により、営業利益は1,438百万円(前年同期比74.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券評価損299百万円の計上があったものの、757百万円(前年同期比66.5%増)と大幅増益を達成いたしました。このように当期上期は、会社計画に対しても順調に進捗しており、下期も通期計画の達成に向けしっかりと両事業伸ばしていきたいと考えています。

また、当期に入り、両事業ともに今後の成長に向けた様々な取り組みを大きく前進させることができたと考えています。以前からお伝えしているとおり、当社では2023年5月から株式会社AGESTの株式分配型スピンオフ及び上場の準備を進めており、現在、事実上2つの独立した企業グループ経営を行っています。この独立経営体制になって以降、迅速な経営判断のもと、それぞれの事業領域における集中投資を行う

ことができるようになったと実感しております。

例えば、DHグループ事業においては、グローバルクライアントの獲得に向け、リソースの強化やアライアンス強化を通じたソリューションの拡充等に注力してまいりました。当期は、独自のAI翻訳エンジン“ella”を活用したソリューションの本格展開を開始するとともに、新たにタイに子会社を設立するなど、ゲーム翻訳サービス力の強化を図ってまいりました。さらに、シンガポール法人との戦略的業務提携を通じたゲーム開発支援強化や英語デバッグの拡充を狙ったカナダのデバッグ/QA会社買収等、一気にソリューションの幅や対応地域拡大に向けた取り組みを加速することができたと考えております。

一方AGESTグループ事業においては、今後の成長の柱となる、独自のAIテストツール“TFACT(ティファクト)”を2025年9月に正式にローンチするとともに、純国産のSBOM[※]管理ツールの開発に着手するなど、今後確実に需要が拡大するソフトウェアテストやサイバーセキュリティの領域において、技術力を活かした付加価値の高いサービス開発に向けいち早く取り組むことができたと考えています。

このように、両事業ともにそれぞれの事業領域に特化した成長戦略を加速させており、確実に成果につながってきています。今後も当社では、両事業の成長ポテンシャル最大化に向け全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援をいただけますと幸いです。

[※] SBOM…Software Bill of Materialsの略称であり、ソフトウェアを構成する部品やその依存関係をリスト化したもの

HIGHLIGHT

2026年3月期上期 連結業績ハイライト

(百万円)	25/3期上期	26/3期上期	前年同期比	子会社売却の影響を除く前年同期比 [※]
売上高	19,906	19,112	△4.0%	+7.0%
営業利益	825	1,438	+74.2%	+84.4%
経常利益	809	1,422	+75.7%	—
親会社株主に帰属する中間純利益	455	757	+66.5%	—

[※] 2024年12月25日付で売却した連結子会社(株)アイデンティティの影響を除いた前年同期比を記載

決算のポイント

- ✓ 前期3Qに売却した子会社の連結除外の影響が大きく減収となるも、本影響を除いた**実質ベースでは増収を達成**
- ✓ DHグループ事業においてNintendo Switch 2発売等を追い風に収益性の高い国内デバッグが伸長したことに加え、AGESTグループ事業での利益体質への転換が図れたことから、**上期として過去最高の営業利益を更新**
- ✓ 親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券評価損299百万円を特別損失として計上したものの、**営業増益により大幅増益を達成**

DHグループ事業

2025年11月20日付で
HUWIZ社を連結子会社化

HUWIZ

HUWIZ社

- ・カナダのゲームデバッグ・QA会社
- ・100名以上のテスト人材が在籍

目的

- ・欧米における顧客基盤拡大
- ・英語でのデバッグ対応キャパシティの増強
及びサービスの拡充

DHグループ事業

GENERAL ARCADE社及びLUNATE社と
2025年11月に戦略的業務提携契約を締結



GENERAL ARCADE社及びLUNATE社

- ・シンガポールのゲーム開発技術者集団
- ・約50名の最先端ゲームエンジニアが在籍

目的

- ・シームレスで高品質なゲーム開発の支援
- ・ポーティングとデバッグ・QAサービスの融合

AGESTグループ事業

独自のAIテストツール
“TFACT”を2025年9月に
正式ローンチ

TFACT

Testing Factory
AGEST AI Assist

AGESTグループ事業

2025年9月に
国内9拠点目となる
“神田ベース”を新設



DHグループ事業

翻訳・LQAの強化を
目的に2025年10月に
タイに連結子会社を設立



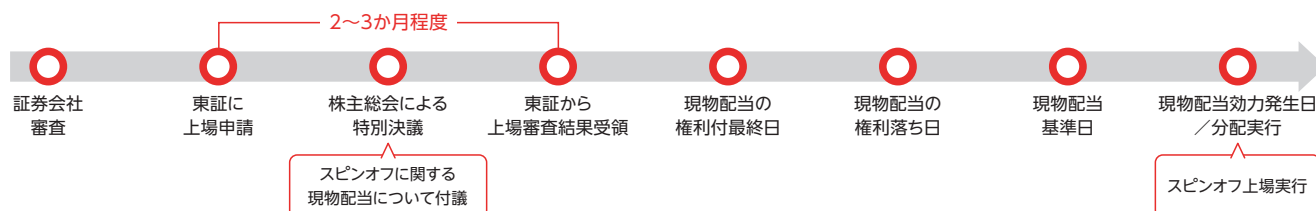
グループ全体

(株) AGESTが独立した企業グループとしての
会社説明資料を公開するなど、
スピンオフ上場に向けた準備を推進

（ご参考）スピンオフ上場で想定される一般的なスケジュール



資料の詳細は
[こちら](#)



コンソールゲームやモバイルゲーム等の不具合をユーザー目線で検出し、顧客企業に報告するデバッグサービスや、ゲームの翻訳・LQA、ゲーム開発支援、マーケティング支援等のサービスを提供

売上高

11,321 百万円

(前年同期比 △7.0%)

実質ベース*での
前年同期比 **+11.8%**

セグメント利益

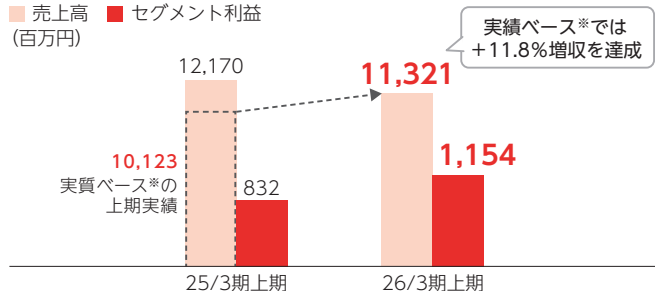
1,154 百万円

(前年同期比 +38.8%)

実質ベース*での
前年同期比 **+46.8%**

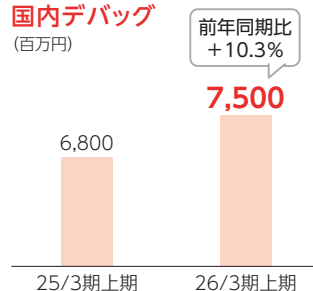
業績推移

売上高 セグメント利益
(百万円)



サービス別売上高

国内デバッグ
(百万円)



- ✓ 前期3Qに売却した子会社の連結除外の影響が大きく減収となるも、Nintendo Switch 2の発売による市場活性化やタイトルの多言語展開の増加等を背景に、両サービスともに好調に推移し、実質ベースの売上高は前年同期比+11.8%と2桁増収を達成
- ✓ 収益性の高い国内デバッグの伸長等により、上期セグメント利益は前年同期比+38.8%と大幅増益を実現
- ✓ 上期は、売上・セグメント利益ともに会社計画を上回って進捗。下期も好況な市場環境を追い風に、デバッグや翻訳・LQAを中心とする新規案件を着実に獲得し、通期計画達成を目指す

* 実質ベース：2024年12月25日付で売却した連結子会社(株)アイデンティティの影響を除いた数値

成長戦略の進捗

新サービスを続々と開始しワンストップソリューションを実現 エリアも日本からアジア、さらに欧米へと拡大

サービス拡大

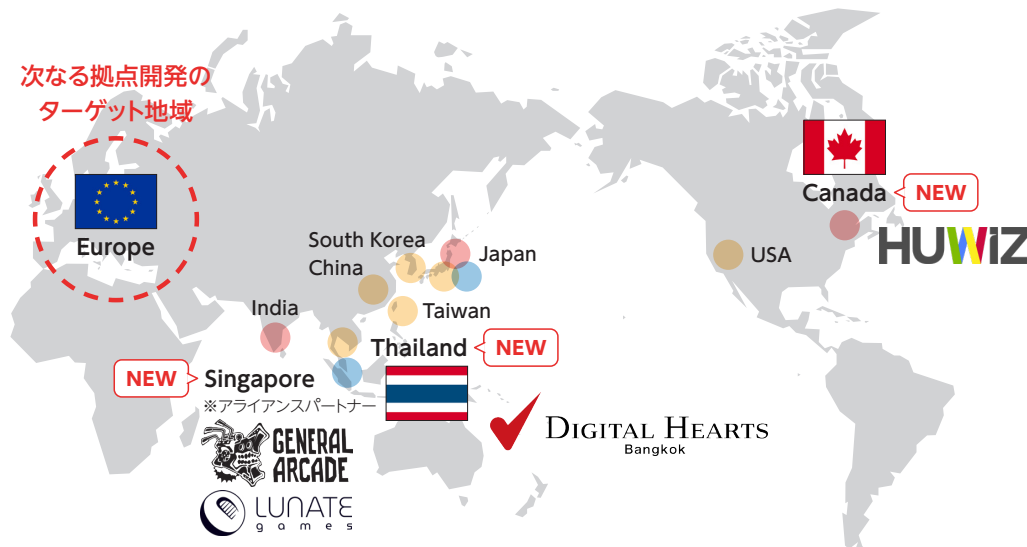
(当社提供サービス)



エリア拡大

- デバッグ拠点
- ローカライズ拠点
- ゲーム開発拠点

次なる拠点開発の
ターゲット地域



エンタープライズシステムの不具合を検出するシステムテストやセキュリティテスト、ERPの導入支援等のサービス、セキュリティ監視、システムの保守・運用支援等のサービスを提供

売上高

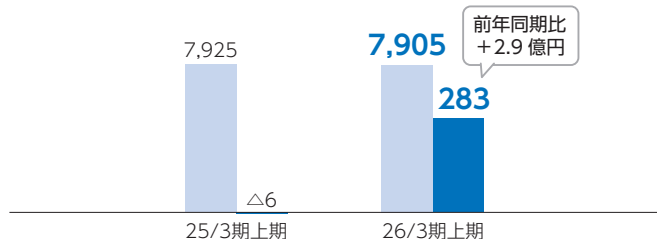
7,905百万円 (前年同期比 △0.3%)

セグメント利益

283百万円 (前年同期比 -%)

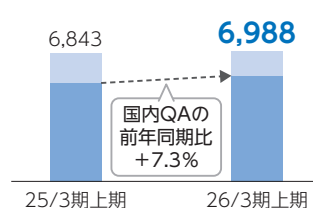
業績推移

■ 売上高 ■ セグメント損益
(百万円)

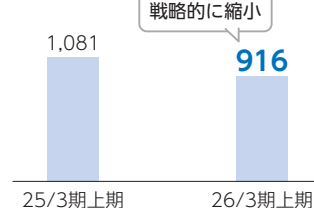


サービス別売上高

QAソリューション
■ 国内QA ■ 海外QA
(百万円)



ITサービス及びその他
(百万円)



- ✓ 子会社売却の影響等を受けた海外QAや、収益性の低い事業の戦略的縮小の影響により減収となるも、主力の国内QAは増収トレンドを継続
- ✓ エンジニア採用や独自のAIテストツール"TFACT"等への成長投資を積極化させつつも、主力事業の売上拡大や海外子会社の事業構造改革による収益性改善により、大幅増益を達成
- ✓ 通期計画に対し上期は順調に進捗。下期は季節的に増加するテスト需要を着実に獲得するとともに、SaaS版TFACTやSBOM管理ツールといった新たな収益基盤の構築を目指す

成長戦略の進捗

QA専門企業としてのビジネス基盤を強化

AI

技術活用による高付加価値サービスの提供及び新たな収益モデルの構築に注力

TFACT活用モデル(2025年9月ローンチ)



TFACT
Testing Factory
AGEST AI Assist



SaaS版TFACT (2026年1月ローンチ予定)

TFACT
Testing Factory
AGEST AI Assist

- ・テスト実施工程の**88.5%**※がTFACTの代替対象
- ・作業時間を**54.1%**削減※

- ・ツール販売によるストック型の新たな収益モデルを確立
- ・AIテストのデファクトスタンダードを目指す

※ テスト実施工程のみのPoC実績

人材

ハイスکیلエンジニアを着実に増員

国内QAエンジニア数

2024年9月末

665名



2025年9月末

709名

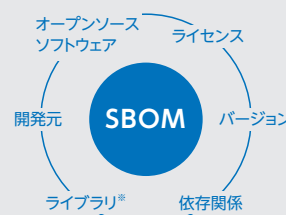


サイバーセキュリティ

2026年1月のローンチに向け、
純国産のSBOM管理ツール開発を推進

SBOMとは
(Software Bill of Materials)

ソフトウェアを構成する部品やその依存関係をリスト化したもの。サイバー攻撃の多発等により、欧米等海外では先行して普及、規制強化が進んでいます。日本でも各省庁等がSBOM活用を推進するなど、今後市場拡大が見込まれています。



※ 特定の目的のために再利用可能なプログラムの部品や資料等を集めたもの

通期計画に対し上期は両事業ともに順調に進捗

下期も好調なコンソールゲーム市場及び国内テスト市場を追い風にさらなる成長を目指す

売上高

39,750百万円

(前期比 +0.0%)

子会社売却の影響を除いた前期比*

+8.5%

営業利益

2,640百万円

(前期比 +8.6%)

子会社売却の影響を除いた前期比*

+11.9%

親会社株主に帰属する当期純利益

1,660百万円

(前期比 +163.7%)

※ 2024年12月25日付で売却した連結子会社(株)アイデンティティーの影響を除いた前期比を記載

株主還元

中間配当金

11.5円

年間配当金(予想)

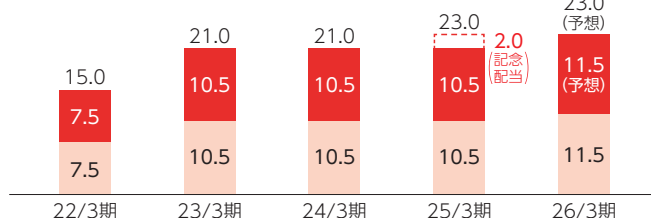
23.0円

当社は、事業成長投資と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向20%を下限の目途として配当を行うことを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、期初予想通り11.5円といたしました。また、年間配当金は23.0円と前期と同水準の安定的な配当を実施する予定です。

配当金の推移

■ 期末配当金(円)
■ 中間配当金(円)



News

2025 大阪・関西万博でシニア向けeスポーツ大会「GeeSports大会」を開催 ゲームの新たな可能性に着目し、高齢化社会が抱える課題解決を目指す

**GeeSPORTS**GeeSports®の
目的・意義

- 1 ゲームの提供やイベントの開催を通じて、シニアの新しい生きがいを創出
- 2 ゲームを楽しみながら健康維持や認知症予防を促進
- 3 社会参加や多世代交流に対してゲームが持つ新たな可能性を検証

※ GeeSports… "GrandParents" "Exciting" "Empower"の頭文字をとって名付けた独自のワード

全員が90歳代のチームや最高齢94歳の選手も参加 大会後もメディア・企業・自治体等から好反響！

3人1組のチームで、試合中、選手がボタンを連打しながらもチームワークを発揮する姿は年齢を感じさせず、観客からも思わず声援があがったほど。大会後のメディア掲載は350件以上、「うちでも開催してほしい！」等、企業・自治体から多くの反響をいただいております。

メディア掲載例

大阪NEWS【テレビ大阪ニュース】

『[94歳のゲーマー登場] 万博で「Geeスポーツ」!白熱の対戦で脳も活性化!』

<https://www.youtube.com/watch?v=tn3kJCFFP4k>

2026年秋に
第2回GeeSports大会
の開催も決定!



財務情報(要約)

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	25/3期(前期末)	26/3期(当中間期末)
流動資産	14,069	14,734
固定資産	5,880	5,551
有形固定資産	1,475	1,502
無形固定資産	1,748	1,683
のれん	1,035	848
投資その他の資産	2,656	2,365
資産合計	19,949	20,286
流動負債	10,473	10,558
固定負債	215	210
負債合計	10,688	10,769
株主資本	7,859	8,349
その他の包括利益累計額	1,094	864
非支配株主持分	306	302
純資産合計	9,260	9,517
負債純資産合計	19,949	20,286

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	25/3期(前中間期)	26/3期(当中間期)
売上高	19,906	19,112
営業利益	825	1,438
経常利益	809	1,422
親会社株主に帰属する中間純利益	455	757

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	25/3期(前中間期)	26/3期(当中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,257	981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△714	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△612	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	140	△75
現金及び現金同等物の増減額	71	433
現金及び現金同等物の期首残高	6,858	7,593
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,930	8,027

会社情報

会社概要

(2025年9月30日現在)

社名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設立	2013年10月1日
資本金	300百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード: 3676)
主なグループ会社	株式会社デジタルハーツ 株式会社AGEST DIGITAL HEARTS CROSS Marketing and Solutions Limited DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd. 株式会社フレ임ハーツ Aetas株式会社 LOGIGEAR CORPORATION AGEST Vietnam Co., Ltd. DEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITED 株式会社CEGB 株式会社GPC
正社員数(連結)	1,810名

株主メモ

(2025年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会	毎年3月31日
基準日	期末配当金 毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/

(ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式情報

株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株

発行済株式の総数 23,890,800株 (自己株式1,591,996株を含みます。)

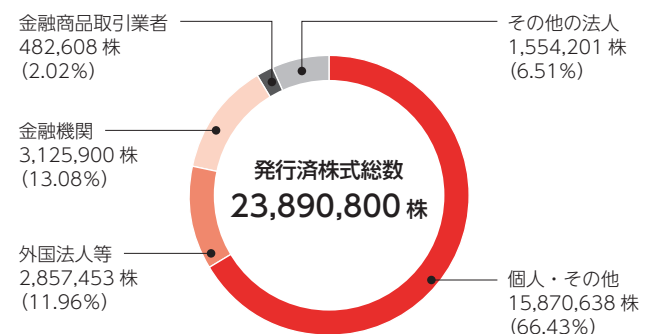
株主数 7,126名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤 栄一	9,425,633	42.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,837,600	8.24
A-1合同会社	1,324,900	5.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,102,200	4.94
MSIP CLIENT SECURITIES	289,904	1.30
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	286,689	1.29
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	224,800	1.01
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381593	200,750	0.90
光通信KK投資事業有限責任組合	185,000	0.83
藪 太一	180,000	0.81

(注) 1. 当社は、自己株式1,591,996株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



* 「個人・その他」には自己名義株式1,591,996株(6.66%)を含んでおります。



ホームページのご紹介 <https://www.digitalhearts-hd.com/ir/>

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュース等、様々な情報を公開しています。